

決算報告

政策経営課（千代田庁舎）

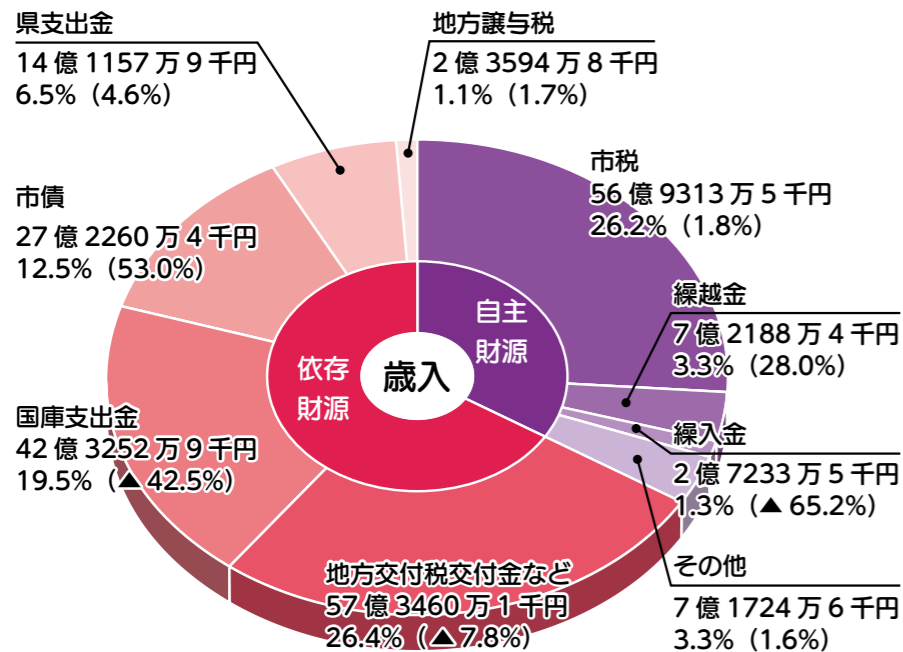
令和3年度決算が、令和4年かすみがうら市議会第3回定例会で認定されました。一般会計は、歳入総額が217億4186万1千円で前年度決算に比べ11.6%の減、歳出総額が204億6468万3千円で14.3%の減、歳入歳出差引額は、12億7717万8千円です。

【グラフの表示】
・区分
・決算額
・構成比(増減率)

一般会計 歳入・歳出の状況

一般会計歳入

総額 **217億4186万1千円**



歳入決算額は、前年度から11.6%の減となりました。

自主財源は、税収の増加などにより財政調整基金の繰入を実施しなかったことなどから、繰入金が前年度から65.2%の減となっています。

依存財源は、国庫支出金が令和2年度特別定額給付金事業の完了に伴う特別定額給付金給付事業費補助金の減などにより前年度から42.5%の減となっています。

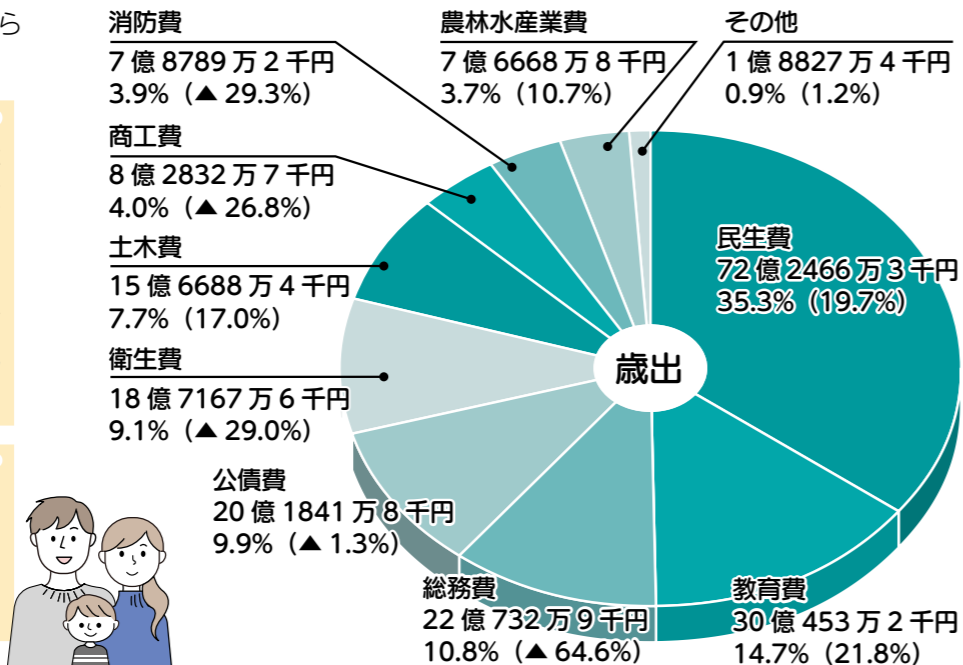
一般会計歳出

総額 **204億6468万3千円**

歳出決算額は、前年度から14.3%の減となりました。

前年度と比較すると、総務費は令和2年度特別定額給付金事業の完了などにより64.6%の減、衛生費は霞台厚生施設組合への負担金の減などにより29.0%の減となっています。

教育費は、千代田中学校校区統合小学校施設整備工事などにより、前年度から21.8%の増となっています。



新型コロナウイルス感染症の感染防止対策事業

感染防止対策や社会経済の安定を目的に行った事業の一部です。

- かすみエールプレミアム商品券 2億8367万6千円
- 子育て世帯への臨時特別給付金 2944万円
- ひとり親世帯に対する生活支援特別給付金 2368万7千円
- 保育緊急対策事業費補助金 1416万円
- 移住促進住宅取得支援補助金 1400万円
- 営業時間短縮要請に伴う補助金 1290万円
- アクリル板、抗原検査キット、消毒液などの購入費 907万8千円



かすみエール
プレミアム商品券

特別会計 歳入・歳出の状況

| 会計名 | 歳入 (増減率) | 歳出 (増減率) | 歳入歳出差引額 |
|---------|--------------------|--------------------|------------|
| 国民健康保険 | 42億7719万2千円 (5.1%) | 41億5983万9千円 (3.8%) | 1億1735万3千円 |
| 後期高齢者医療 | 9億2560万円 (3.9%) | 9億849万2千円 (2.8%) | 1710万8千円 |
| 介護保険 | 36億5617万8千円 (4.9%) | 35億5864万1千円 (3.1%) | 9753万7千円 |

- 国民健康保険特別会計は、医療費の増加に関連し歳入・歳出ともに増となっています。
- 後期高齢者医療特別会計は、医療費の増加に関連し歳入・歳出ともに増となっています。
- 介護保険特別会計は、保険給付費の増加に関連し歳入・歳出ともに増となっています。

財政健全化の状況

財政健全化判断比率

(単位：%)

| | 本市 | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|----------|------|---------|--------|
| 実質赤字比率 | - | 13.10 | 20.0 |
| 連結実質赤字比率 | - | 18.10 | 30.0 |
| 実質公債費比率 | 9.7 | 25.0 | 35.0 |
| 将来負担比率 | 51.5 | 350.0 | - |

※「-」の表示は、赤字となっていないことを表しています。

資金不足比率

(単位：%)

| | 本市 | 経営健全化基準 |
|---------|----|---------|
| 水道事業会計 | - | 20.0 |
| 下水道事業会計 | - | 20.0 |

※「-」の表示は、資金不足額がないことを表しています。

地方公共団体の実質的な赤字や公社・関係団体などを含めた実質的な将来負担に係る指標の健全化判断比率と公営企業ごとの資金不足比率を算出し、監査委員の審査を受けて議会に報告、公表することとされています。

各比率が早期健全化基準を上回った場合は、財政健全化計画を策定し、自主的な改善努力により財政健全化を進めることとなります。財政再生基準を上回った場合は、財政再生計画を策定し、国などの関与による確実な財政再生を進めることとなります。

水道事業会計、下水道事業会計における資金不足額の事業規模に対する比率を公表し、本市では、いずれの会計も資金不足比率は算出されませんでした。

